

津川式・漢字を覚えるためのミラクル暗記法

「漢字を覚えさせるにはどうしたらよいのだろうか?」

今月送っていただいた指導手帳・コーチングシートでは、このような声が多数寄せられていました。そこで、今回は、漢字の暗記方法としてテレビなどでも紹介されたことのある津川式・漢字暗記法をご紹介します。

津川式・漢字記憶法の進め方

- ① 覚える漢字をよく見ます。
- ② 右記見本のように、各漢字の自分にとって「ここさえ覚えればあとは全部出てくる」と思えるポイントに○をつけます。思いつきでもいいので、漢字のどこかに○をつけてください。
- ③ ○をつけた漢字をすぐ手などで隠して、漢字の隣にその漢字を書いてください。
- ④ 5つ覚えたら、手本を隠して別の紙に一度に5つ書いて確認します。
- ⑤ ①から④の作業を繰り返します。
- ⑥ その日覚えたい漢字全てやり終えたら、最初から通じで書き出せるかチェックします。

※覚えられなかった漢字は、もう一度①から③を繰り返してください。
※毎日コツコツやると効果的なので、1日10個くらい覚えると良いです。

この方法だと、何回も同じ漢字を練習書きする必要もなくなるので、非常に簡単に漢字を覚えることができるようになります。

以下に漢字検定1級相当の漢字も取り上げてみました。是非、津川式・漢字暗記法の効果を先生ご自身で試してください。効果が高いことにきっと驚くと思いますよ。そして、やり方を生徒さんにも教えてあげてください。

■ 漢字1級の漢字に挑戦！！

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 迂闊 (うかつ) | 6. 駕籠 (かご) |
| 2. 孵化 (ふか) | 7. 播く (まく) |
| 3. 荒畢 (だび) | 8. 轟き (とどろき) |
| 4. 忌憚 (きたん) | 9. 煩漫 (らんまん) |
| 5. 弄ぶ (もてあそぶ) | 10. 蓋 (ふた) |



Good JOB - コーチングシート実践例

実は、自分の目の前に現れる問題の答えはあなたが気づいていないだけで自分の中にあるものです。そして、答えを探すときには、主語を自分にして、「いつ」「何をする」が明確になるように考えると答えが見つかりやすくなります。今回頂いた改善策の中にも実践思考で考えられたすばらしい改善策がいくつもありました。その一部を下記にて紹介します。

先生

勉強量見える化するのって最高に良いです！！

問題点

一つの科目に偏ってしまう！

改善策

バランスよく指導できるように時間やページで区切る。また、どの教科をどれだけ勉強したかを見る化するため、表を作り学習した教科には色を塗っていくようにする。

先生

モチベーションアップは、ほめることと目標設定が一番効きます！

問題点

勉強へのモチベーションが低下中

改善策

まずは、頑張っていることを評価してあげる。そして、次のテストなどに向けた目標と一緒に設定してみる！

先生

お手本を見せると言うことが素晴らしいです！！見本があれば、生徒もマネしやすい！

問題点

ノートまとめが下手

改善策

まずはお手本を見せ、どういう風に取り組めばよいかのイメージを持たせる。そして、ノートの取り方のコツを伝授する。次回指導で行う“前回の復習”にて、こちらが作成したまとめノートを与える。

先生

生徒自身に説明させるとすると、考える力も養成できます。

問題点

実際は分かっていないのに、「分かった」と言う

改善策

「分かった」と言われたら、生徒に説明させるように促します。そして、どこが分かっていて、どこが分かっていないかを自分自身で理解させる。

指導手帳ベストプラクティスの紹介

事例紹介：

先生の手帳

今回もたくさんの先生に指導手帳を提出していただきました。いつもありがとうございます。手帳に生徒の様子や自分の思いを綴る。すると、次回指導へのやる気がみなぎってきますよね。こんな風に使ってもらえて、私たちも大変うれしく思っています。

さて、今回は、先生の手帳を紹介します。指導終了時の姿を明確にしてから指導準備をしていることがよくわかります。記載されていることも具体的で、非常にわかりやすい内容です。生徒さんの気持ちを常に意識して、工夫して指導をしている様子が手帳より伝わってきました。